

事業名 自主企画事業：ファミリーキャンプ!!～家族の宝探し編～

- [主催] 国立阿蘇青少年交流の家
 [後援] 熊本県教育委員会
 [期日] 令和6年10月26日(土)～10月27日(日)【1泊2日】
 [活動場所] 国立阿蘇青少年交流の家
 [参加者] 小学生16人 中学生3人 高校生1人 大人18名 計38人
 [担当職員] 阿蘇青少年交流の家2人
 [ボランティア] 法人ボランティア6人 熊本大学社会教育演習生1人

1 趣旨

親が子供のありのままの姿に気づき、ありのままの姿を受け入れる。そのことを愛情表現で子供たちに伝え、その愛情表現で愛が伝わったことを実感する。

2 目標

- (1) 親が子供と一緒に過ごす中で、子供にもっと目を向けて、新たな一面を発見する。
- (2) 親がありのままの子供が大切に好きだという気持ちを伝える
- (3) 子供が、ありのままのあなたが好きだという親の気持ちを受け取ったことを伝える。

3 事業展開

(1) 活動プログラム

1日目 10月26日(土)		2日目 10月27日(日)	
10:00～10:15	開会式	7:30～ 9:30	カートンドッグ作り
10:15～11:00	アイスブレイク	9:30～ 10:30	みんなで力を合わせろ
11:00～15:00	脱出ゲーム(昼食弁当含む)	10:30～ 12:00	家族の宝物づくり (スクラップブック作り)
15:00～19:00	親子逆転ピザ作り	12:00～13:00	昼食
19:00～20:00	入浴・休息	13:00～14:00	お手紙交換会
20:00～21:00	家族団らん	14:00～15:00	片付け
21:00～22:00	就寝準備	15:00～15:15	閉会式
22:00	消灯	15:30	解散

(2) 活動の様子



【アイスブレイク】



【脱出ゲーム(あそのん救出)】



【親子逆転ピザ作り】



【カートンドッグ作り】



【みんなで力を合わせろ】



【家族の宝物づくり】

4 評価、成果と課題

(1) 評価

① 参加者の満足度 (35 人回答)

質 問	項 目	満 足	やや満足	やや不満	不 満
2 日間のファミリーキャンプは満足できましたか？	回答数 (人)	32	3	0	0
	割合 (%)	91.4	8.6	0	0
ファミリーキャンプをとおして家族の新たな一面を発見することができましたか？	回答数 (人)	保護者		子供	
		16 (できた)	1 (できなかった)	12 (できた)	4 (できなかった)
	割合 (%)	94.1	8.9	75.0	25.0

② 参加者の声

【保護者】

- ・ファミリーなので、幅広い年齢の参加者がいる中で、充実したプログラムでとても楽しかったです。
- ・ボランティアの方が、すごく明るく笑顔で対応してくれたことが嬉しく安心できました。
- ・ゲームが盛りだくさんで、子どもとのふれあいや参加者同士のふれあいが楽しかったです。

【子 供】

- ・ピザがおいしかったです。
- ・父がかわいい絵を描けるのを、はじめて知りました。
- ・何事にも楽しそうな姿のママを新たに知ることができました。

(2) 成果

- 参加者の 9 割以上が本事業に満足を感じることができ、7 割以上の参加者が家族の新たな一面を発見することができた。
- 脱出ゲームにおいては、雨天プログラムでの対応であったが、入念な準備の成果もあり、参加者は屋内でも楽しむことができていた。
- 本事業は、学生ボランティアを中心に企画・運営を行い、約半年間の準備を経て実施することができた。学生の思いをかたちにすることができ、学生にとっても貴重な体験活動となった。

(3) 課題

- ピザ作りの際に、軽度の火傷を負った方がおり、セーフティトークによる注意喚起や道具の使用にあたっては今後改善が必要である。
- テント数やピザ作りの際のかまど数に制限があり、申し込みのあった全家族を参加者として招くことができなかった。